

SHIN CLUB 104

(株)ユニホー辰カンパニー 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「AOYAMA GARDEN」 撮影：アック東京

大人がくつろげる憩いのカフェ

ザラメ糖がまぶされた、さくっとしたリーフパイ。「ウエスト」といえば、ドライケーキの優しい味わいがすぐに思い浮かぶ方も多いのではないでしょうか。このたび新しく建替えられた、洋菓子舗ウエストの青山店は地下鉄乃木坂駅から徒歩1分。昨年、新国立美術館やミッドタウンなどが近くにできて、乃木坂界限は以前より乗降客が増えました。

「旧店舗は40年間、カフェとしてお客様に親しまれてきました。そのイメージを大切にしたいですね」と社長の依田龍一氏。創業は1947年。第二次大戦後間もない銀座の街で、創業者の依田友一氏が、「グリル・ウエスト銀座」を開店、コーヒーが1杯10円の時代に1000円のステーキ・コースをお客様に提供して話題になりました。半年後「1人前75円以上のメニューを禁止する」という東京都条例の施行により、やむを得ず喫茶に変更し再出発されました。コーヒーを1杯50円でお出しするという高級志向のお店でしたが、本物を味わいたいお客様が数多く訪れました。物資の乏しい時代にもサッカリンなどの人工甘味料を使わず、バターや粉も上質なものを使ったという、素材へのこだわりは今も受け継がれています。

「職人が一つ一つ手で作っているの、量産ができません。ですから東京近郊でのみ展開しています」と語る依田社長には、昨今の食品の安全問題とは無縁でご商売を進めてきた自信があります。菓子業界の8割が今年、商品の値上げに踏み切らざるを得なかったそうですが、ウエストでは何とか値上げしないで済んでいるとのこと。ウエストのドライケーキは、「東京のお土産」としての地位も確立し、直営店や、百貨店のほか、羽田空港や成田空港でも販売しています。

新しい青山店のカフェでは、旧店舗のイメージを大切にしつつ、5年前に建てた三越新館のレトロカフェと同様、和洋折衷の落ち着いた雰囲気の内装が基本です。加えて50代半ばを超えた依田社長ご自身が入りたくなるお店にと、いろいろな工夫がこらされています。

「三越新館のレトロカフェには、かなり年配のお客様が目立ち、車椅子の方も見えていました。これから日本はますます高齢化社会。そういう方たちがゆっくりくつろげる、心地よい店を作りたいと思いましたね」と店内の通路は、すべて車椅子の移動できる幅を確保し、多目的トイレを設置しています。ペレットストーブも、寒くなる季節には心まで暖められる暖房機です。暖かさがエアコンとはまったく違うので、とても置きたかったものの一つだったそうです。

店内に流れる音楽はすべてクラシック。創業以来、BGMとして、年代を問わず、誰にも愛されるクラシックがかけられています。お店のカウンターにはパンフレットと並んで、『風の詩』という小さな冊子がおかれています。これは当初、店内でかけられるレコードの演奏プログラムをお客様に案内する目的で作ったものです。

「昔はステレオがある家庭が少なく、レコードを聴きたいと思ったら、一般の方は音楽喫茶に行くしかありませんでした。曲目を書いた栞を新橋や有楽町の駅に置いておくと、プログラムをご覧になったお客様が来店されるのです。現在もお客様から募集した詩や随筆をこうして毎週『風の詩』という栞にして置いているのです」

休日も、お店を廻ってくつろいでいるお客様を見るのがお好きだという依田社長は、「店を眺めていると、ここはもっとこうしたら、といろいろアイデアが浮かぶのですよ」とこやかにお話しくださいました。

AOYAMA GARDEN

老舗洋菓子店の新しいカフェと工場



①



②



③



④



⑤

①1階カフェ。落ち着いた色調の店内。不燃木の窓枠の外側の枠は実はアルミ枠。ダイノックシートで木目柄を施す。複層ガラス採用②デッキ・テラス。造園は花門フラワーゲート。コナラなど自然な趣の庭になるような木の種類が選ばれている。③1階菓子販売コーナー。右側通路がカフェへの入口。④2階従業員休憩室。和室は2つ。パン工場のように、朝は早い。キッチンではまかないの人が食事を作ってくれる⑤3階工場。奥に大型オープン、さらに右側には仕込工程のスペースがある。

社長のこだわり

竣工前に、基本設計を担当し、長年、同社のパッケージや店舗インテリアなどのデザインディレクションを手がけてきた、デザイナーの倉澤一郎氏が、この3月急逝されるというアクシデントがあった。しかし、建物の基本設計はほぼ終えており、その後は、細部に依田社長自身のこだわりが生かされていくことになった。

ほとんどの照明は社長が選択され、特にカフェ中央のメインシャンデリアは、ニューヨークの店でオーダーしたもの。本体はスペイン製のアラバスターという大理石、金具はイタリア製。注文してから到着まで7ヵ月要した。シックな店内を美しく照らし出している。

前庭には、雨水利用システムを入れ、ペット同伴のお客様も入れるよう、犬のリーダーをつなぐフックも3箇所用意されている。「リニューアル・オープンを心待ちにしていらっしゃるお客様を早くお迎えしたくてたまらない」といった社長に、テラスでコーヒーをいただく最初の客としてお話をうかがうことができ、光栄であった。



⑥



⑦

所在地：港区
用途：店舗・工場
構造：RC造 地上3階
設計：榎村建築設計事務所
施工担当：夏井 内海
竣工：2008年10月
撮影：アック東京

⑥テラスの底の下は和風のデザインのダウンライトやシーリングファン、スポットライトが組み込まれている。
⑦西側全景。2階への外階段はテナントのレストラン入口。



今月は社会福祉法人「パール」の新谷弘子理事長にお話をうかがいます。新谷さんが理事長を務める「パール代官山」は、福祉の総合プラザとして様々な福祉介護サービスを地域に提供しています。東京都指定の介護老人福祉施設、ショートステイ、デイサービス、訪問介護のほか、障害者の自立支援サービス、公益事業では渋谷区から委託された「配食サービス」や「ハンディキャップ移送サービス」、「在宅介護保険以外のケアサービス」、「ボランティア活動」、「研修事業」など現在 15 の事業を行なっています。

Hiroko Shintani

—今年3月、渋谷区とパール共催で行なわれたオーケストラコンサート「世代を越えて、障害をこえて」は大好評でしたね。今日はまず、新谷さんが福祉に進まれたきっかけからお聞かせいただけますか。

新谷：私は戦後まもなく、日本女子大で当時アメリカから伝わった新しい社会福祉を勉強しました。卒業後、東京都の民生局に勤めたのですが、当時は今の若い方には想像もつかないほど、まだ貧困という言葉が生きていた時代でした。福祉事務所のケースワーカーとして 10 年間、それは悲惨な生活を強いられている人々を目の当たりにしてきました。(当時の日本女子大社会福祉学科の印刷物に寄稿した新谷さんの文章には、麻薬中毒患者の夫の暴力にさらされ、生まれたての子を背負って夜中まで働き、子供を死なせてしまった女性など、生きていくだけで大変な人々の話が綴られている。)

子育てをしながら仕事を通じてつくづく思ったのは、「個人の自助努力ではどうしようもないことがある。社会が良くならなければ、貧困はなくなる」ということです。日本は、まだまだ社会福祉が遅れていたのです。

そして 2 つめの大きなきっかけが、夫の留学に子供 3 人を同行した、アメリカでの生活でした。地域のボランティア活動をしながらかつづいたのは、よく言われるように「キリスト教など宗教的な動機があるから欧米ではボランティア活動が進んでいる」のではなく、「大勢の異民族が同じ場所で生存していくためには、積極的に社会活動をしなければ相手にされなくなる」という現実でした。何かしらグループ、コミュニティに所属して、仕事以外に 1 週間に 1 度でも社会活動をしていなければ対応能力がない人、コミュニケーション能力が低い人としてスポイルされてしまうのです。

また滞在していたクリーブランドは、冬に雪が降る寒いところでしたが、あるとき息子が自宅近くで雪に滑って転んで木の枝にあたり怪我をしました。学校に遅刻していくと、先生が転んだ理由を尋ねるのです。息子が「自分で転んだ」というと納得しましたが、お医者様でも同じことを聞かれました。つまり雪で子供が転んだら、雪かきをしていなかったその道の前の家の人の責任であり、木の枝が道路に飛び出していたら役所の責任、という具合で、「地域の住民が安全に暮らせるために自分は何をするべきか」という心遣いが日本の比ではないのです。

帰国して、「ボランティアをすることで、社会性を育て、自己主張の適正と受容を育てることになる」と「社会福祉活動教育研究所」を立ち上げました。そこで、ボランティア活動をしたい人を募ったところ、500 人以上の人が集まりました。この頃の仕事の成果は、例えば「拡大写本」です。弱視の方のために、漫画やことわざ事典、教科書などを大きな文字に書き換え、1 冊の本が 3 冊になったりして新しく本を作りました。また、病院ボランティアや高齢者の集いなど、いろいろなことを企画しました。これは今でも続いています。

一次第に日本でもボランティアの意識が高まってきたのですね。

新谷：それでもボランティアだけでは、解決できないこともたくさんあることがわかってきました。平成元年頃から東京都の助成を受けて、在宅介護、ハンディキャップ、配食サービスの 3 つの基本事業を開始しました。当時はまだ東京都内で配食サービスをやっているところはほとんどなく、あっても 1 週間で数回とかお昼だけという状態でした。私は「1 日 3 食 365 日提供して、初めて食事と言えるのではないの」と訴えたのです。この事業に予想以上の評価を頂き、東京都や関係機関から高齢者福祉施設を運営をしてみてもどうかと薦めて頂きました。手探りで多くの方の協力を得て、現在の施設を設立、運営する運びになったのです。

一設立にあたっては、認定などのご苦労を経て ISO も取得されました。

新谷：地域に根ざした福祉の拠点として、次の 3 つの基本理念を掲げています。

1. 人間らしい生き方 (人間の尊厳)
2. その人らしい生き方 (個人の尊重)
3. 互いに伝えあうぬくもり (共生)

利用者のサービスの質ばかりが問われがちですが、働く人の満足感がなければいいサービスはできません。今 170 人のスタッフがいますが、84%の常勤率です。安心して仕事ができる環境づくりのため、ワーカーがみんなで話し合っサービス内容を検討し、研鑽を重ねているんですよ。

—本日はどうもありがとうございました。

「現場主義でここまで来ました。大勢の人の協力で積み重ねられた地域活動の賜物です」

新谷 弘子

- 1932 年 山口県萩市出身
- 1955 年 日本女子大福祉学科卒業／東京都民生局新宿福祉事務所勤務
- 1964 年 同 依願退職 (財)婦選会館出版部勤務
- 1968 年 夫の留学に同行して渡米
3 人の子供達の子育てをしながら、幼児・障害者ボランティア活動を経験
- 1970 年 帰国 公立中学校社会科講師 (15 年間) 横浜国立大学講師、他
- 1977 年 社会福祉活動教育研究所設立 所長
- 1989 年 非営利在宅有償サービス パールライフ協会設立 (理事長)
- 1997 年 社会福祉法人「パール」認可
- 1999 年 特別養護老人ホーム「パール代官山」、「福祉総合プラザ」設立

10 年目を迎えた「パール代官山」の前で。

渋谷駅と代官山駅の中間に位置し、7ブロックある渋谷区の地域包括支援センターのうちの 1 つを担う。介護保険を始め、高齢者や障害者の介護や生活全般の相談も受けている。

TEL:5484-4811



メンテ魂

その後、
お住まいはいかがですか

第12回 MS邸

所在地：太田区
用途：専用住宅
構造：木造一部RC造
規模：地上2階
設計：鈴木基紀+空間設計社
竣工：2003年3月



MS邸のオーナーS様はアメリカ人。現在外資系メディア・カンパニーの役員を務められています。日本人の奥様と結婚され、お子様達の教育も考慮に入れられて日本で一戸建ての住宅を建てられました。ご自身も建築に造詣が深く、和と洋の良さを併せ持った木造のご自宅は、S様のこだわりがいたるところに生かされています。現在のお住まいはどのようになっているのでしょうか。設計の鈴木基紀先生と伺いました。

—竣工後5年が過ぎてお住まいの方はいかがですか。

S様：すばらしいですね。とても満足しています。メンテナンスしたところはほとんどありません。

鈴木：階段踏み板の集成材のクラックを大工さんに手直してもらったこと、擁壁を補修してもらったことくらいですね。木や土壁などの自然素材は、経年変化でとてもいい感じになっていて、建物によく馴染んできています。

—お台所はアメリカの家具職人の方が作ったキッチンキャビネットを入れたのでしたね。運賃を入れても日本製よりはリーズナブルだったとか。

S様：引き出しや扉の動作も良好で、調子はいいですね。

—お庭は竣工当時まだできていませんでしたが、とても良く作りこんでいますね。

鈴木：小林雅夫さん（庭師）との協働で実現できました。

S様：玄関先や外階段、庭の前部分に使われている諏訪鉄平石は、長野県の採石場まで行って選んできたものです。小石を敷き詰めたところは、水が流れるようにしました。自然の野山を感じさせるように、四季折々にいろいろな花が咲きます。庭は西側に開けていますが、ここは高台なのでプライバシーも確保されていて、大きな開口部を通してリビングとの一体感があり、お客様を招いてのパーティにとても便利です。庇があるので、西日の強さもある程度は和らいでいます。

奥様：茶室で母が娘たちにお茶を教えていますし、庭の花木は茶花としても意識しています。ヤマモモやしだれ梅や紅葉など。今は秋明菊がたくさん咲きすぎっていますが（笑）。

—日本で家を建てられたことの意味をあらためてお聞かせいただけますか。

S様：そうですね、多くの外国人のように「借りる」のではなく、「所有した」ということはとても意味があります。まず、仕事に集中できました。とてもハードな仕事なので、賃貸生活だったら今頃帰国していたかもしれませんね。

奥様：やはり仕事でストレスを感じて帰ってきても、緑がある自宅の空間でくつろぐことで彼自身はとても休まれていると感じます。

S様：それからデザインが非常に良かったということもあります。こちらの申し出にいろいろと試行錯誤した鈴木さんにはとても感謝しています。そして施工者として辰のフレキシブルな対応にも驚いています。竣工してから5年間、辰の仕事で手直するところはほとんどなかった訳ですから。アメリカではこんなことはありません。

鈴木：アメリカじゃメンテナンスのシステムはないのですか。

S様：そうですね。こうやって竣工後も建物とずっと付き合ってくれるというシステムは素晴らしいと思います。

—ありがとうございます。今後とも宜しくお願いします。



①リビング。暖炉型のストーブと隣合う家具や、天井の梁の木の風合いが落ち着いた空間を演出する



②玄関。木戸や壁、玄関の木の扉は年を経ても美しい。石畳の鉄平石はオーナーのS様が自分で選ばれたもの



③西側の庭。玉砂利の洗い出しの中に鉄平石が部分的に埋め込まれている。水の噴出し口となっている奥の大きな蛙の石の置物は、もともと敷地内に残っていたものを再利用した。

TOPICS/INFORMATION

「INTH邸 新築工事」 地鎮祭 10月19日



板橋区中台の閑静な住宅街に建つ、お医者様一家の多世帯住宅です。

構造：RC造
規模：地上2階
用途：専用住宅
設計：椎名純
完成予定：2009年6月

「千駄ヶ谷P」 新築工事」安全祈願祭 10月



地下2層あるクオリティ、デザイン性の高い建物を、造りこんでいきます。

構造：RC造
規模：地上3階 地下2階
用途：事務所
設計：松田正明/プランニング
ファクトリー蔵
完成予定：2009年8月

編集後記

・「Front Line」で取材した、新谷弘子氏が2006年にまとめられた「パール28年のあゆみ」を拝見すると、そのお仕事の量に圧倒されます。社会福祉の現場でまず行動され、さらに改良点を加えていくという実践力は、若い人の尊敬を集めています。

(株)ユニホー辰カンパニー通信 Vol.104 発行日 2008年11月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男